

パロマカップ
2025年度 第33回 日本クラブユース選手権(U-15)大会 静岡県予選
《 大会規定 》

- 1) ルールは、公益財団法人日本サッカー協会競技規則2024/2025に従うものとする。
- 2) 62チームが参加し、1次リーグ、2次トーナメント、3次リーグ、決勝トーナメントを行う。
 - ・1次リーグは、高円宮杯JFAU-15リーグ2025静岡の3部と4部の31チームとU-15リーグ不参加の3チームを合わせた34チームを8組に分けて行い、各組上位2チームの計16チームが2次トーナメントに進む。ブロック分けは2024年のU-15リーグの順位で決定する。
 - ・2次トーナメントは、1次リーグを勝ち上がった16チームを4組に分けて行い、各組1位の4チームが3次リーグに進む。
 - ・3次リーグは、高円宮杯JFAU-15リーグ2025静岡のTOP、1部、2部の28チームと2次トーナメントを勝ち上がった4チームを合わせた32チームを8組に分けて行い、各組の上位2チーム計16チームが決勝トーナメントに進む。ブロック分けは2024年のU-15リーグの順位で決定する。
 - ・決勝トーナメントは、3次リーグを勝ち上がった16チームで行い、1位～6位を決定する。
- 3) 競技時間は70分(35-10-35)で、時間内に勝敗が決しない場合、1次リーグと3次リーグは引き分けとする。2次トーナメントと決勝トーナメントは延長戦を行わずPK戦を行う。
天候や気温など、状況に応じて飲水タイムやクーリングブレイクを設ける。
- 4) 1次リーグと3次リーグの順位は、以下の内容の順番で決定する。
 - ①勝ち点:勝…3点、分…1点、負…0点 とし、勝ち点の多い順から上位とする。
 - ②勝ち点と同じ場合は、得失点差の多い方を上位とする。
 - ③得失点差が同じ場合は、総得点の多い方を上位とする。
 - ④総得点も同じ場合は、当該チームの対戦結果にて決定する。
 - ⑤④も同じ場合は抽選とする。
- 5) 選手登録票
 - ・選手登録は各試合で25名以内とし、監督以下スタッフは5名以内とする。
 - ・当日にベンチ入りしない登録選手は、必ず氏名を線で消すこと。
 - ・試合開始60分前までに先発選手11名とベンチ入りするスタッフ5名以内に○を付け、会場本部に2部提出する。
- 6) 選手交代
 - ・交代は9名までとする(再入場は不可)。
 - ・後半は3回までとする。1回に複数人を交代することは可能。ハーフタイムの交代は後半の回数に含めない。※頭部負傷による交代は、この回数には含まれない。
- 6) 警告、退場
 - ・退場を命じられた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
 - ・大会期間中、警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。但し、1リーグ、2次トーナメント、3次リーグでそれぞれ警告が1枚のみの選手は、その警告を次のリーグ及びトーナメントに持ち越さない。(1次リーグ、2次トーナメント、3次リーグのそれぞれ最終試合で警告2枚目を受け次の試合が出場停止になる選手、または退場になり出場停止が未消化の選手は、次のリーグ及びトーナメントの試合で出場停止となる)
 - ・退場内容により、その選手の処分を規律委員会で決定する。
- 7) 公認5号ボールを使用する。(各チームにて用意すること)
- 8) チームが棄権または棄権行為が発生の場合は日本サッカー協会の懲罰規程に準ずる。
試合開始時刻に遅れた場合はチーム棄権とみなす。但し交通事情により、試合開始1時間前までに会場担当チームへ連絡があった場合はこの限りではない。対応は会場担当、各ブロックの運営担当、運営委員で検討する。

9) ユニフォームについて

- ・公益財団法人日本サッカー協会のユニフォーム規定に準ずる。
- ・正副2組のユニフォームを用意し、いずれかを着用すること。正と副の2色は明確に異なる色とする。
- ・ユニフォームの色は事前に両チームで話し合い決定しておき、選手登録票のユニフォームの色に○を付けて提出する。ユニフォームの色と背番号は、選手登録票と必ず一致すること。
- ・胸にチームのマークと番号、背に番号を必ず付けること。
- ・GKが控えを含め試合続行不可能となった場合、フィールド選手がGKとして出場する際の背番号については、GKのユニフォームを着用することによる不一致が発生しても良いこととする。

10) 試合は雨天決行とするが、暴風、大雨、洪水などの警報が発令された場合には、その日の第1試合開始の3間前までに決定する。問い合わせ先は、1次リーグと3次リーグは各ブロックの会場責任者とし、2次トーナメントと決勝トーナメントは大会事務局とする。

また、試合途中でも雷鳴が聞こえたり雷雲が近づく様子がある時は、直ちに近くの建物、自動車、バスの中に入り、安全な空間に避難する。雷活動が止んでも20分以上経過してから屋外に出る。なお、試合続行が困難な場合は、残り試合時間分を後日実施する。

11) 審判はチームの割り振りで有資格者が行い(主審は3級以上)、審判服を着用しワッペンをつけること。

12) メンバー表記載選手と選手証及び選手本人の確認を毎試合で会場本部にて行う。
チーム試合開始1時間前を厳守すること。

13) 参加資格の違反、不都合な行為があった場合は松原クラブ委員長に報告し、処置については規律委員会にて決定する。

14) ゴール設置は、転倒しないようにしっかりと固定すること。

15) 選手及び指導者は、フェアプレーの精神に基づき試合を遂行すること。大会運営上の規定に違反があった場合には、公益財団法人日本サッカー協会の懲罰規程に準じ、規律委員会にて協議し処分を決定する。

16) 規律委員会は3種規律委員長、クラブ委員長、副委員長、5支部の支部長、審判委員長、総務委員長、会場責任者で構成する。